



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 大成株式会社

上場取引所 名

コード番号 4649 URL <http://www.taisei-bm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 憲司

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員コーポレート本部長 (氏名) 中島 武久

TEL 052-242-3223

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,591	3.0	44	43.5	60	36.9	44	11.6
29年3月期第1四半期	5,428	8.8	79		96	223.9	50	299.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 98百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 39百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.88	
29年3月期第1四半期	10.05	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,221	8,229	62.0
29年3月期	12,595	8,151	64.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 8,199百万円 29年3月期 8,151百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,400	2.9	100	62.3	137	54.1	72	61.2	14.30
通期	23,530	7.3	350	25.0	415	9.9	222	6.3	44.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	5,369,671 株	29年3月期	5,369,671 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	334,062 株	29年3月期	334,062 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	5,035,609 株	29年3月期1Q	5,035,609 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、ビルメンテナンス事業につきましては、売上は前連結会計年度後半から当連結会計年度期初にかけ業務を開始したいくつかの大型物件が寄与し、連結売上高は55億91百万円(前年同四半期比3.0%増)と堅調に推移しました。

利益面では労働力不足がより一層高まる厳しい経営環境下の中、新たに獲得した物件のイニシャルコスト(募集費、教育費、引継ぎコスト等)の抑制に努め、早期の収益化に注力しました。一方で事業領域の拡大や新たなサービスメニューの拡充にむけた人材投資費用などにより、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は44百万円(同43.5%減)、経常利益60百万円(同36.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益44百万円(同11.6%減)となりました。

## ビルメンテナンス事業

## (クリーン業務)

クリーン業務につきましては、前連結会計年度後半から当連結会計年度期初にかけ業務を開始した日立製作所サービス&プラットフォーム横浜事業所、GINZASIX、ホテルグランヴィア大阪、名古屋JRゲートタワーホテルなどの大型物件が寄与し、売上高は30億76百万円(前年同四半期比7.7%増)と堅調に推移しました。利益面では、一部で賃金上昇によるコスト増と解約の影響により、営業利益は3億62百万円(同2.6%減)と減益となりました。

## (設備管理業務)

設備管理業務につきましては、新規に法政大学多摩校地、パワードーム半田などを受託しましたが、いくつかの解約物件の発生や随時売上減少により、売上高は11億25百万円(同0.1%減)となりました。一方で利益面では既存物件の収益性の改善により、営業利益は41百万円(同42.0%増)と増益となりました。

## (セキュリティ業務)

セキュリティ業務につきましては、新規にセンチュリー豊田ビル等の物件を獲得したことに加え、前連結会計年度に獲得した丸紅本社、国際協力機構本部、シンフォニー豊田ビル等が期初から寄与したことにより、売上高は7億35百万円(同3.4%増)、営業利益は54百万円(同11.2%増)と増収増益となりました。

従いまして、ビルメンテナンス部門の売上高は49億36百万円(同5.2%増)となり、営業利益は4億57百万円(同1.8%増)となりました。

## リニューアル工事事業

リニューアル工事事業につきましては、計画通りの進捗で推移しておりますが、第1四半期中の完工高が前年比較では減少し、売上高は4億12百万円(同22.4%減)、営業利益は16百万円(同52.0%減)となりました。

## 不動産ソリューション事業

不動産ソリューション事業につきましては、前連結会計年度に獲得した指定管理者物件が期初から寄与したことに加え、2基のメガソーラーの発電量が天候に恵まれたことから、売上高は2億41百万円(同20.3%増)、営業利益は16百万円(同811.4%増)と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産132億21百万円(前連結会計年度末比6億26百万円増)、負債の部は49億91百万円(同5億48百万円増)となり、純資産の部は、82億29百万円(同78百万円増)となりました。

資産の部の主な増加要因は、CV社連結による「のれん」の計上および同社の売掛金を加算したこと、並びに当期中に受け入れ予定のベトナム技能実習生の社員寮の取得等により土地等有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債の部の主な増加要因は、翌月に支給予定である賞与について「賞与引当金」および資金の調達のための「短期借入金」が増加したことによるものであります。

純資産の部の主な増加要因は、「その他有価証券評価差額金」が増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績予想に対する進捗率は、売上高は49.0%、営業利益は44.7%、経常利益は44.2%、親会社株主に帰属する四半期純利益は62.1%となりました。

平成29年5月12日公表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,570,730	1,895,778
受取手形及び売掛金	2,338,992	2,547,260
有価証券	350,000	476,753
商品及び製品	7,798	9,940
原材料及び貯蔵品	44,854	45,482
繰延税金資産	116,200	148,656
その他	52,860	76,524
貸倒引当金	△1,250	△1,320
流動資産合計	5,480,186	5,199,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,380,385	2,520,120
減価償却累計額	△1,490,867	△1,510,155
建物及び構築物(純額)	889,517	1,009,964
機械装置及び運搬具	1,291,542	1,315,307
減価償却累計額	△504,435	△540,586
機械装置及び運搬具(純額)	787,106	774,721
工具、器具及び備品	435,190	449,307
減価償却累計額	△317,802	△325,867
工具、器具及び備品(純額)	117,388	123,439
土地	1,279,950	1,380,283
リース資産	10,620	10,620
減価償却累計額	△8,496	△9,027
リース資産(純額)	2,124	1,593
建設仮勘定	—	16,754
有形固定資産合計	3,076,087	3,306,757
無形固定資産		
のれん	86,352	755,406
その他	92,292	87,405
無形固定資産合計	178,644	842,812
投資その他の資産		
投資有価証券	2,329,572	2,305,214
差入保証金	246,640	263,448
退職積立資産	889,130	891,058
保険積立資産	104,661	103,923
ゴルフ会員権	159,358	159,358
繰延税金資産	18,138	14,827
その他	140,073	162,555
貸倒引当金	△27,435	△27,435
投資その他の資産合計	3,860,141	3,872,951
固定資産合計	7,114,873	8,022,521
資産合計	12,595,060	13,221,596

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	680,318	714,830
短期借入金	100,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	139,536	168,096
リース債務	2,124	1,593
未払金	82,076	10,834
未払費用	167,278	212,383
未払給与	943,368	974,648
未払法人税等	190,543	100,576
未払消費税等	169,938	255,943
賞与引当金	234,365	417,525
その他	144,671	183,562
流動負債合計	2,854,220	3,299,993
固定負債		
長期借入金	965,472	1,099,648
長期未払金	30,120	28,237
預り保証金	29,795	29,880
退職給付に係る負債	167,132	146,829
役員退職慰労引当金	285,930	259,226
繰延税金負債	83,923	100,643
資産除去債務	27,271	27,417
固定負債合計	1,589,645	1,691,883
負債合計	4,443,865	4,991,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	822,300	822,300
資本剰余金	878,137	878,137
利益剰余金	6,433,595	6,427,951
自己株式	△314,545	△314,545
株主資本合計	7,819,487	7,813,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	344,483	401,312
為替換算調整勘定	△12,776	△15,824
その他の包括利益累計額合計	331,706	385,487
非支配株主持分	—	30,388
純資産合計	8,151,194	8,229,720
負債純資産合計	12,595,060	13,221,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,428,133	5,591,393
売上原価	4,743,569	4,895,139
売上総利益	684,564	696,254
販売費及び一般管理費		
役員報酬	47,634	45,789
給料	216,170	231,090
賞与引当金繰入額	42,528	46,543
役員退職慰労引当金繰入額	5,108	3,864
退職給付費用	6,352	5,790
賃借料	41,868	42,816
減価償却費	22,796	29,910
のれん償却額	2,364	2,515
保険料	27,054	27,283
その他	193,640	215,974
販売費及び一般管理費合計	605,518	651,579
営業利益	79,046	44,674
営業外収益		
受取利息	3,135	3,486
受取配当金	16,420	17,720
受取手数料	3,287	4,038
貸倒引当金戻入額	403	44
持分法による投資利益	1,665	1,179
その他	1,313	3,762
営業外収益合計	26,226	30,232
営業外費用		
支払利息	602	1,242
支払手数料	1,556	811
為替差損	3,305	11,306
障害者雇用納付金	3,750	950
その他	—	14
営業外費用合計	9,214	14,326
経常利益	96,058	60,581
特別利益		
受取保険金	372	3,000
投資有価証券売却益	490	3,047
投資有価証券償還益	—	11,651
その他	—	2,351
特別利益合計	862	20,050
特別損失		
固定資産除売却損	0	484
投資有価証券売却損	10	272
投資有価証券評価損	6,065	—
特別損失合計	6,075	757
税金等調整前四半期純利益	90,846	79,875
法人税、住民税及び事業税	99,299	71,982
法人税等調整額	△59,051	△36,819
法人税等合計	40,248	35,162
四半期純利益	50,597	44,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	50,597	44,712

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	50,597	44,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,507	56,828
為替換算調整勘定	△16,704	△3,047
その他の包括利益合計	△90,212	53,780
四半期包括利益	△39,614	98,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,614	98,492



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,857,513	1,126,748	710,882	531,980	201,009	—	5,428,133
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,857,513	1,126,748	710,882	531,980	201,009	—	5,428,133
セグメント利益	371,952	28,992	49,047	34,851	1,797	△407,595	79,046

(注) 1. セグメント利益の調整額△407,595千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリーン業務	設備管理業務	セキュリティ 業務	リニューアル 工事業務	不動産ソリュ ーション業務		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,076,315	1,125,139	735,343	412,784	241,811	—	5,591,393
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,076,315	1,125,139	735,343	412,784	241,811	—	5,591,393
セグメント利益	362,253	41,163	54,544	16,716	16,381	△446,384	44,674

(注) 1. セグメント利益の調整額△446,384千円は、主に報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「クリーン業務」セグメントにおいて、Care Vietnam Joint Stock Companyを連結子会社化したことに伴い、当第1四半期連結累計期間において、のれんが673,938千円発生しております。